

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

## 【経営基本情報】

### 団体の基本情報

所在地	津市栄町三丁目222番地		
HPアドレス	http://www.boutsui-mie.or.jp		
電話番号	059-229-2140	FAX番号	059-229-6900
設立年月日	平成4年3月31日		
代表者	理事長 渡部邦夫	県所管部等	警察本部
県出資額	738,100,000 円	県出資割合	69.8 %
団体の目的	暴力団員による不当な行為を予防するための広報活動等を推進し、暴力団員による不当な行為についての相談事業を行うとともに、暴力団員による不当な行為の被害者の救援を行うこと等により、暴力団員による不当な行為の防止及びこれによる被害の救済を図ることを目的とする。		

### 主な事業内容

#### [事業規模(事業費)]

(単位:千円)

事業名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
(1) 暴力相談活動	12,507	12,921	12,539	
全事業合計に占める割合	66.8%	65.1%	62.5%	
(2) 広報啓発活動	3,027	3,486	3,242	
全事業合計に占める割合	16.2%	17.6%	16.2%	
(3) 責任者講習活動	1,608	1,599	1,848	
全事業合計に占める割合	8.6%	8.1%	9.2%	
(4) (1)～(3)以外の事業	1,571	1,830	2,420	
全事業合計に占める割合	8.4%	9.2%	12.1%	
全事業合計	18,713	19,836	20,049	
全事業合計に占める割合	100.0%	100.0%	100.0%	

#### [事業の概要]

- センターにおける常設暴力相談140件の実施、巡回無料相談の実施等
- 機関紙等による広報啓発活動、暴力追放運動の意識高揚のための普及宣伝活動、暴力追放三重県民大会の開催等
- 不当要求防止責任者講習の実施、企業や事業所に対する不当要求防止責任者の選任の促進及び講習受講者の勸奨
- 地域・職域暴力団排除組織の支援活動、保護・救済活動、情報収集、調査研究活動等

#### 役職員の状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
常勤役員	1人	1人	1人	
うち、県退職者	1人	1人	1人	H21平均年齢 : - 歳
うち、県派遣	0人	0人	0人	H21平均年収 : 法人の給与規程による
常勤正規職員	3人	3人	3人	
うち、県退職者	2人	2人	2人	H21平均年齢 : 62.5 歳
うち、県派遣	1人	1人	1人	H21平均年収 : 3,969 千円
その他職員	1人	1人	1人	業務補助職員1名
うち、県退職者	0人	0人	0人	

派遣職員は含まない

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

○財務概況

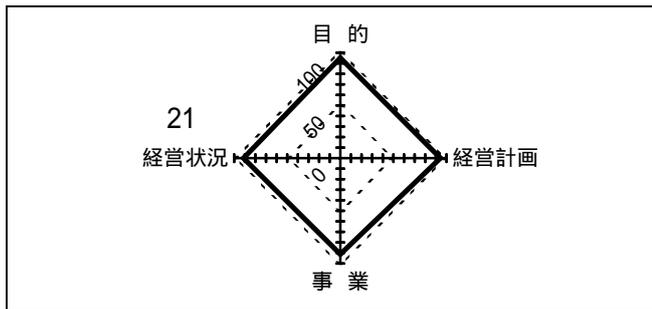
		(単位:千円)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
正味財産増減計算書	経常収益	基本財産運用益	23,620	23,620	23,620
		受託事業収益	2,458	2,544	2,528
		受取補助金・助成金	0	0	0
		自己収益	5,070	4,920	4,680
		その他収益	0	0	33
		計 (a)	31,148	31,084	30,861
	経常費用	事業費	18,713	19,836	20,049
		管理費	10,566	10,444	10,317
		計 (b)	29,279	30,280	30,366
		当期経常増減額 (c) = (a) - (b)	1,869	804	495
	経常外収益 (d)	0	0	0	
	経常外費用 (e)	0	0	33	
	当期経常外増減額 (f) = (d) - (e)	0	0	△ 33	
	当期一般正味財産増減額 (g) = (c) + (f)	1,869	804	462	
	当期指定正味財産増減額 (h)	0	0	0	
	当期正味財産増減額合計 (g) + (h)	1,869	804	462	
貸借対照表	資産	流動資産	18,519	19,293	19,777
		固定資産	1,060,606	1,060,606	1,060,584
		計	1,079,125	1,079,899	1,080,361
	負債	流動負債	233	203	203
		固定負債	0	0	0
		計 (i)	233	203	203
	指定正味財産	(うち、基本財産への充当額)	1,058,100	1,058,100	1,058,100
		(j)	1,058,100	1,058,100	1,058,100
	一般正味財産	(うち、基本財産への充当額)	0	0	0
		(k)	20,792	21,596	22,058
	正味財産合計 (l) = (j) + (k)	1,078,892	1,079,696	1,080,158	
	負債・正味財産合計 (i) + (l)	1,079,125	1,079,899	1,080,361	

主な指標	正味財産比率	正味財産 / (負債 + 正味財産)	100.0%	100.0%	100.0%
	借入金依存率	借入金 / (負債 + 正味財産)	0.0%	0.0%	0.0%
	基本財産運用利率	基本財産運用益 / 基本財産	2.2%	2.2%	2.2%
	自己収益比率	自己収益 / (経常費用 - 受託事業費)	18.9%	17.7%	16.8%
	当期経常増減率	当期経常増減額 / 経常収益	6.0%	2.6%	1.6%
	総資産当期経常増減率	当期経常増減額 / (負債 + 正味財産)	0.2%	0.1%	0.0%
	人件費比率	人件費 / 経常費用	66.9%	66.2%	64.3%
	管理費比率	管理費 / 経常費用	36.1%	34.5%	34.0%

県からの財政的支援等	委託料	千円	2,458	2,544	2,528	
	補助金・助成金	千円	0	0	0	
	負担金	千円	0	0	0	
	借入金(期中に借り入れた額の合計)	千円	0	0	0	
	その他県支出金(追加出資額等)	千円	0	0	0	
		計	千円	2,458	2,544	2,528
		借入金残高(期末残高)	千円	0	0	0
		債務保証額(期末残高)	千円	0	0	0
		損失補償限度額	千円	0	0	0
		損失補償契約に係る債務残高(期末残高)	千円	0	0	0

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

### 【団体自己評価結果】



	19年度		20年度		21年度	
	比率	評価	比率	評価	比率	評価
目的	90	A	95	A	95	A
経営計画	89	B	94	A	94	A
事業	96	A	96	A	91	A
経営状況	91	A	91	A	91	A

A(90%～100%):良好な事象や傾向がみられる  
C(30%～59%):改善を要する

B(60%～89%):やや良好な事象や傾向がみられる  
D(0%～29%):大いに改善を要する

### 【団体自己評価コメント】

平成21年度コメント	
目的	暴力団の資金源活動は、社会情勢の変化に対応し、一層巧妙かつ多様化してきている。また、他県では暴力団排除活動の推進者が暴力団関係者と見られる者から攻撃を受けるなど暴力団の先鋭化も認められ、暴力団員による不当な行為とこれによる被害の救済を目的とするセンターの必要性が更に増している。
経営計画	財政基盤の確立を中期目標の一つとして掲げ、寄附金・賛助会員の拡充に努めたところ、それぞれの数値目標を達成した。また、運用先有価証券の満期保有により安定した基本財産の運用をすることによって、事業規模に見合った収入を確保している。
事業	暴力相談では相談内容に応じて、民暴弁護士や警察と連携し適切に対応した。また、平成21年度は暴力団員による不当要求の事例をまとめた「不当要求対応事例集」を新たに作成、県民に広く配布し、不当行為の予防に関する知識の普及に努めた。このほか、各暴力団排除組織の会合等へ積極的に参加し、暴力団排除意識の高揚を図るとともにセンターの認知度向上に努めた。
経営状況	県からの収入は、受託事業である不当要求防止責任者講習に係る受託料のみで、補助金等は受けていない。経常収益は、国債等、安全な債券の運用による安定した財源を主としつつ、もう一方の財源である寄附金・賛助金収入も定量目標を達成するなど、健全な経営を続けている。
総括コメント	当センターでは、暴力団排除意識の高揚や暴力団関連の被害防止のための広報啓発活動をはじめ、暴力団員の不当要求等に関する相談事業及び不当要求防止責任者講習事業を着実かつ適切に推進した。 今後も、引き続き安定した財政基盤を確立し、センターの認知度を向上させるとともに、定性目標と定量目標の達成に向け、寄附金・賛助金の拡充や広報啓発活動をはじめとする各種事業の拡充を図ることとする。

### 【団体の達成目標】

年次事業計画による達成目標  
(定性目標)

平成21年度目標	財政基盤を確立するため、寄附金・賛助金の拡充に努めるほか、ホームページや機関紙等の内容を拡充する等センターの各種活動を充実させ、センターの認知度の向上を図っていく。
平成21年度実績	寄附金・賛助金の拡充に努めた結果、数値目標を達成し、経営状況の健全化が図られたほか、各種被害の防止等に向けた広報資料の作成配布やホームページへの掲載など、事業の充実を図り、センターの認知度の向上に努めた。
平成22年度目標	安定した財政基盤を確立するため、寄附金・賛助金の拡充に努めるほか、ホームページや機関紙等の内容を充実させる等センターの各種活動を着実に推進し、センターの認知度向上を図る。

(定量目標)

指標	数値目標	単位		平成20年度	平成21年度	平成22年度
寄附金・賛助金収入	400	万円	目標	400	400	400
			実績	492	468	
不当要求防止責任者講習	1,250	人	目標	1,250	1,250	1,250
			実績	1,247	1,310	

中長期計画による達成目標

センターの現状から、引き続き「財政基盤の確立」と「センターの認知度の向上」を中期目標として掲げ、各々の目標に向けた施策である「寄附金・賛助金の拡充」や「ホームページ、機関紙等の内容充実」等に努める。

団体名	財団法人暴力追放三重県民センター
-----	------------------

### 【知事等の審査及び評価結果】

+ : 団体自己評価結果に比べて高く評価(良好な点が認められる)  
 - : 団体自己評価結果に比べて低く評価(課題が認められる)  
 空白: 団体自己評価結果と概ね同じ評価

	19年度	20年度	21年度	21年度コメント
目的				暴力団は、組織実態及び活動実態を一層不透明化させており、様々な手法を駆使した資金源獲得活動を行うなど組織基盤の強化を図っていることから、暴力団員による不当な行為を防止し、被害の救済等を目的とするセンターの活動に対する社会の要請はますます高まっている。
経営計画				小冊子「不当要求対応事例集」を作成し、関係機関、団体に配布する等、センターの認知度の向上に努めた結果、財政基盤の一つである寄附金・賛助金収入が数値目標を68万円上回る成果を挙げており、今後も公益的な事業の充実により自己収益を増加させ、経営の一層の安定化を図る必要がある。
事業				不当要求防止責任者講習については、積極的な講習活動を行ったことにより目標数を60人上回る受講があった。また、講習の内容の充実、新たな広報資料の作成・配布を行って県民の暴力団排除意識の高揚を図るなど、各種事業の充実に努めた。
経営状況				基本財産を適正かつ安全に運用するとともに、寄附金・賛助金の拡充に努めた結果、正味財産は4年連続して増額となっており、借入金もないことから、経営状態は良好である。

### (知事等の総括コメント)

暴力団のいない安全で安心な地域社会を実現するために、社会全体で暴力団排除対策を進めることが求められている中、センターは、警察や弁護士等と連携しながら県民からの暴力相談に適切に対応しているほか、平成21年度は不当要求防止責任者講習の受講者数が目標数値を上回って達成するなど各種事業を着実に実施しており、暴力団排除対策に欠かせない団体となっている。

センター運営資金の一つである寄附金・賛助金収入は、平成20年度を下回ったものの、新規賛助会員の拡充により継続的な収入を確保するなど、経営状況は良好である。引き続き、安定した財政基盤の維持に努められたい。

今後も、県民のニーズに即した事業を積極的に展開し、暴力団のいない安全で安心な地域社会の実現に貢献することを求める。